

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第4回定例会)

質問順位	10 8番議員 大久保由美子	
質問事項1	地域計画策定による農業施策について	
質問の要旨	全国的に高齢化や人口減少により、農業の担い手不足や耕作放棄地が拡大し続けている。国は地域の農地を次世代に引き継ぐために、人・農地プランから地域で話し合い、目指すべき将来の農地利用を明確化する地域計画を定めるため、令和5年4月に農業経営基盤強化促進法が改正された。本町も地域計画策定に向け、各地域で農業関係者や農地所有者と目標地図策定が始まっており、策定状況や進捗等を問う。	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 地域計画策定の目的を示せ	町長
	(2) 地域計画策定の進捗状況を示せ	町長
	(3) 目標地図策定後の取組を示せ	町長
	(4) 地域計画により本町が目指す農業について示せ	町長

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第4回定例会)

質問順位	10 8番議員 大久保由美子	
質問事項2	持続可能な農業に向けて	
質問の要旨	<p>国は、平成11年に「食料・農業・農村基本法」（以下、基本法）を制定し、基本法の基本理念を具体化するため、平成12年に「食料・農業・農村基本計画」（以下、基本計画）を策定し、農業の「産業政策」・「地域政策」を車の両輪とし、食料安全保障の確保に取り組むとする基本的な方針を掲げ、5年ごとに見直しを行っている。</p> <p>11月に行政視察した岡山県矢掛町を始めとした各市町村は、国の基本計画に基づき県の方針を踏まえ、自治体独自の特性を活かした農業の持続可能な発展に向けた農業ビジョン等を策定している。本町も基本計画を踏まえ、農業の施策に反映しているのか問う。</p> <p>また、矢掛町は独自事業に「農業振興対策基金」を原資とする補助事業を行っている。本町の独自の農業振興施策について、考えを問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 国の基本計画の概要を示せ</p> <p>(2) 基本計画を踏まえ、本町の農業施策を示せ</p> <p>(3) 本町独自の農業振興支援事業を示せ</p> <p>(4) 農業支援に向けた今後の展望や施策を示せ</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第4回定例会)

質問順位	10	8番議員	大久保由美子
質問事項3	ひきこもり支援について		
質問の要旨	<p>近年、長期のひきこもりによって80代の親が50代の子を抱えて困窮する状況の「8050問題」が深刻化している。</p> <p>内閣府が2023年3月に公表した調査結果では、全国の15～64歳のうち、ひきこもり状態にある人は146万人と推計され、この世代の約50人に1人がひきこもり状態にある。</p> <p>11月に厚生産業常任委員会は、岡山県総社市の「全国屈指の福祉文化先駆都市」を目指す福祉王国プログラム8部会のうち「ひきこもり支援部会」の行政視察研修を行った。民生委員等による実態把握、市独自事業として社会福祉協議会に委託し、ひきこもり支援センターや2箇所の常設居場所設置、家族会設立、サポーター養成など積極的な支援と事業を行い、市民の理解やひきこもり本人の社会参加を目指している。</p> <p>本町のひきこもり支援の現状や施策について問う。</p>		
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) ひきこもり支援に対する自治体の役割は何か</p> <p>(2) ひきこもり状態の方の実態把握の状況を示せ</p> <p>(3) ひきこもり支援の相談窓口や周知・啓発活動の取組を示せ</p> <p>(4) 小中学生のひきこもり予防について考えを示せ</p> <p>(5) ひきこもり状態の方や家族への支援を示せ</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>	